

別表7 許可基準

建築物	敷地	地 割		・歴史的な地割を継承した現状の間口を大きく改変しないこと。
		配 置		・道路に面して建て、軒先もしくは下屋は道路から後退させない。 ・主となる建築物に脇門を設けるなど、周囲の伝統的建造物に調和する配置とする。
	構造・規模	構 造		・歴史的風致を損なわないものとする。
		建 物 間 口		同上
		階 数		・平屋建てもしくは二階建てとする。
		高 さ		・歴史的風致を損なわないものとする。
		基 礎		・コンクリート面の露出が目立たないように配慮する。
	外部意匠	屋 根	形 式	・切妻造など、周囲の伝統的建造物に調和する形式とする。
			勾 配	・歴史的風致を損なわないものとする。
			軒	同上
			材 料	・瓦葺きもしくは金属板葺きとする。
			色 彩	・灰色もしくは黒色系統とする。
		下屋庇	形 式	・歴史的風致を損なわないものとする。
			材 料	同上
			色 彩	・灰色もしくは黒色系統とする。
		外 壁	形 式	・歴史的風致を損なわないものとする。
			色 彩	・中塗り仕上げや白漆喰仕上げなど、周囲の伝統的建造物に調和する色彩とする。
		建 具	形 式	・歴史的風致を損なわないものとする。
			材 料	・通りに面する建具は原則木製とする。
			色 彩	・歴史的風致を損なわないものとする。
	設備機器等			・通りからみえる配置や形状としない。やむを得ず通りに面する場所に設置する場合は、歴史的風致に調和した素材・形状・色彩による目隠しを行い、外観上目立たないようにすること。
工 作 物			・歴史的風致を損なわないものとする。	
駐車場・空地等			・通りに面して駐車場を設ける場合は、門や塀などによる目隠しを行い、歴史的風致を損なわないものとする。 ・門や塀、車庫等を設ける場合は、それぞれの基準に従うものとする。	
宅地造成・土地の形質の変更			・造成および変更後の状態が歴史的風致を損なわないものとする。	
樹木の伐採・土石類の採取			・実施後の状態が歴史的風致を損なわないものとする。	

※その他、特に記載のない形態・意匠等は伝統的建造物に準ずるものとする。また、教育委員会が特に必要と認め、上記の基準に依り難い場合は、須坂市伝統的建造物群保存地区保存審議会に諮って決定する。